

平成30年度文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日時
平成31年2月27日（水）
開会 午前10時
閉会 正午
- 2 開催場所
尾張旭市役所3階 302・303会議室
- 3 出席委員
斎場和志、林宏、桐原千文 3名
- 4 欠席委員
奥野絵美
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した説明者
国立大学法人 名古屋工業大学 教授 増田理子
- 7 出席した事務局職員
教育部長 萬谷久幸、
文化スポーツ課長 西尾哲弥、文化スポーツ課長補佐兼文化振興係長 林正信、
文化スポーツ課 茂上理沙、藤森あかね 5名
- 8 議題等
 - (1) 議題
 - ア 平成30年度文化財保護関連事業の実績等について
 - イ 市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」の調査・研究について
 - (2) その他
 - ア 平成31年度どうだん亭一般公開の再開について
- 9 会議の要旨

会長	ただ今から、平成30年度尾張旭市文化財保護審議会を開催いたします。 尾張旭市文化財保護条例の規定による定足数に達しておりますので、会議を始めたいと思います。 議題に入る前に萬谷教育部長よりあいさつをお願いします。
教育部長	(あいさつ)
会長	ありがとうございます。 では、議題に入らせていただきます。本日の会議は、議題が3つありますが、議題（1）ーイ市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」の調査・研究についての説明をしていただくため、国立大学法人名古屋工業大学教授の増田理子様にお越しいただいておりますので、まず議題（1）ーイから行いたいと思います。

	それでは、増田教授から御説明をお願いします。
増田教授	(資料2に基づき説明)
会長	ありがとうございました。 それでは、御質問がありましたらお願いします。
会長	長池は調整池の役割をしていますが、水位の上げ下げは可能でしょうか。
事務局	関係部署に水位の一年間の変動等について確認させていただきます。
会長	長池の水が貴重だというお話を伺いました。ひどいときは水がわずかに残っているだけの状況になってしまうのでよろしくをお願いします。
林委員	増田教授は長池の水位を上げれば自然に地面の下から潤うと言われていましたが、お金はかかりますが単純に考えて水を上からスプリンクラーで定期的に散布すれば良いのではと思いましたがいかがでしょうか。
会長	長池は、水田に水を引いている方がお金を出して愛知用水の水を買っていますので、水田が終わった後に水位がどれほど保てるかという話になると思います。スプリンクラーは最終手段でいいと思います。
増田教授	もうひとつの手段としましては、先ほど林委員が言われていたように自生地の上部の木が水を吸ってしまうものもあるので、お金はかかりますが斜面の木を切って歩道を透水性舗装にすれば、水がしみ込みやすくなるのでそれだけでもかなり違います。 水を供給するシステムを作らなくても木を切るだけでも良いです。
会長	どのあたりの木ですか。
増田教授	舗装道路と長池の中間の所です。切ったらマメナシもよくみえるようになります。また、ヒサカキやカシなどの常緑樹は冬もずっと水を吸い続けるため伐採するだけで常に水が供給できるようになります。
会長	他の樹木が水を吸ってしまうから木を切るわけですね。できたら伐採する木に目印を付けてもらえたらいいですね。 マメナシを保存するためには、ため池の水位を上げるか、他の樹木を伐採する方法があるということですね。 他に何か質問はありますか。
林委員	マメナシに成り年と裏年があるということですが、一般的に成り年と裏年は、どの植物でも共通して表れるのでしょうか。
増田教授	樹木によって違い、天候によるときもありますが、実際は植物の戦略で多くの実が成る年と実が成らない年があります。例えば、ドングリは、花が咲いて実ができるとネズミが実を食べてしまいます。

	<p>そうすると種子ができないので、一度に食べきれないくらい多くの種子を作って生き残る確率を上げる戦略だという説もあります。確かめられないので難しいですが、ドングリが多く成ったときは食べられない実が多く残ります。また、少ない年は全ての実を食べられてしまう可能性があります、エサが少ないため外敵の数も抑えることができ、数の調整をしていると考えられています。</p>
会長	ありがとうございました。
増田教授	(退室)
会長	続いて、議題（１）ーア平成30年度文化財保護関連事業の実績等について、説明をお願いします。
事務局	(資料1に基づき説明)
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
林委員	<p>3ページの（３）、（４）をお願いします。</p> <p>学芸員を中心にきめ細かに mini 民具企画展や特別企画展、出張企画展を子どもから大人まで興味があるテーマを探されており、本当によく努力されていると思います。特に出張企画展「今も残る昔の地名」は中央公民館のロビーを使用して分かりやすく写真や解説文が展示されており素晴らしかったです。</p> <p>1つお聞きしたいのが（４）出張企画展・ウ、本地原小学校の「昔のお金一貨幣の歴史」の展示はパネルだけでなく、実物のお金を展示したり触らせたりしたのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回は校長先生から実物を置く展示スペースがないとのことでしたので、パネルのみで展示を致しました。</p> <p>以前、社会科部会で何か協力できることや、今回実施したような展示もできるので是非声を掛けてくださいというお話をしており、展示スペースをあけて頂いたという感じです。</p>
林委員	そうでしたか。少し残念ですね。
会長	<p>これが発展していくと良いですね。良い企画だと思いますので、また宣伝してください。</p> <p>他に質問等ありますか。</p>
桐原委員	非常に活発に活動されているので本当に感心しています。史跡等保存公開事業の歴史民俗フロアに関することはほぼ全て学芸員の方が中心にされていると考えてよろしいですか。
事務局	考古企画展と民具企画展に関しては NPO 法人と協力しています。
桐原委員	NPO 法人の性格はどういう感じでしょうか。また、企画展に対して尾張旭市として意見等は述べているでしょうか。
事務局	NPO 法人は、主に考古系の専門家集団の方で犬山市を中心に活動されています。犬山市から委託を受けて青塚古墳や堀部亭などを管理している団体です。

	企画展につきましては、NPO 法人単体で進めるのではなく打合せをしながらパンフレットや展示内容などを決定しています。
桐原委員	パンフレットも NPO 法人で作成をしているのですか。また、設置場所はスカイワードあさひ歴史民俗フロアだと思いますが、パンフレットはなくなり次第配布は終了ですか。
事務局	パンフレットは毎年1,000部印刷しております。この2年間で急にパンフレットの人気が増しまして急遽、増刷をしている状況です。
桐原委員	学校との連携についていろいろとされているようで社会科部会の方が見学されたようですが、小学校の授業でスカイワードあさひに立ち寄ることはありますか。
事務局	近隣の城山小学校に関しては、春に遠足などで立ち寄るようです。
桐原委員	小学生達が探検バックを持って回られるのは、地域の歴史や自然について調べるためですか。
事務局	また城山小学校になります。探検バックを持って4年生の子ども達が長池のマメナシ・アイナシ自生地の観察や長池周辺の自然について調査する為に回っているという状況です。そういった時に市役所職員も同行して説明をしております。
桐原委員	スカイワードあさひ歴史民俗フロアの利用状況はどの程度でしょうか。
事務局	アンケートはとっていますが、時期としては春がほとんどといったところです。スカイワードあさひ8階の天体観測室と歴史民俗フロアを同時に見学されるので解説させていただく時間がない状況です。
桐原委員	歴史民俗フロアの体験コーナーも増やされたとのことですが、そういう機会に実際に物に触れながら学芸員の説明ができたなら一番良いと思います。 城山小学校以外の学校はスカイワードあさひから遠いのですか。
会長	遠いですね。市役所の見学には近隣の旭小学校、印場大塚古墳公園の見学には本地原小学校と瑞鳳小学校、名古屋市の天子田小学校と大体決まっています。 決められた時間約2時間での行動になるので近隣施設の見学で済ましてしまう傾向があります。
桐原委員	歩いて行ける範囲となると難しいですね。 公民館などで出張企画展を開催する時に来て頂けたら良いですね。
会長	学校に出張して頂けると本当にありがたいです。
桐原委員	先生方から民具の借用依頼はありますか。
事務局	今回は本地原小学校から依頼があり、社会科の「昔の道具」の授業で使用して頂きました。教科書に載っている民具を持って行き、

	実際に触って頂きました。
桐原委員	貸し出せる民具をパッケージ化してもらって、学芸員さんが全部運ぶのは大変なので先生方から積極的に借りて実際に触って活用してもらおうと1番良いですね。先生方が授業で説明しやすいように工夫しておくと思います。
会長	社会科の先生とはいっても何でも知っているわけではないので、民具の説明書を付けてもらえるとありがたいです。
事務局	今回、説明書を付けさせて頂きました。
会長	それはとてもありがたいです。そういった形で広がると良いですね。
桐原委員	民具を取り扱っている学芸員さんの知恵があると思うので子ども達に分かりやすい、様々なパッケージを作成して、選んで頂けるくらい数が増やせると良いですね。
事務局	授業の「昔の道具」という単元で昔の道具を一番使いたいと思います。
桐原委員	名古屋市博物館も今月末まで多くの小学生が来館されましたが、展示物が多すぎてゆっくり見えないですね。今回みたいに現場の先生が説明されるのが本当に一番良い形だと思います。
会長	貸し出した民具は暫く学校に置いておくのですか。
事務局	今回は、授業が始まった頃にお持ちしたので、約2週間貸し出しを行いました。
会長	それは子ども達も喜びますね。
桐原委員	一番良い形ですね。ありがとうございました。
会長	やっと学校も動き出したので、是非活動が広がるように教育委員会でも宣伝をしてください。やはり、社会科部会が中心になると思いますので、社会科の先生が集まる際にはおおいに宣伝して頂ければと思います。同時にふるさとガイド旭さんにも使用してもらえると良いですね。
林委員	時々スカイワードあさひ3階歴史民俗フロアの展示も案内しています。実際に印場城跡から発掘された道具を貸して頂き、本当に貴重なものを皆さんに見て頂くことができ大変喜ばれた事もありました。
桐原委員	現在、市民の方から多くの寄贈があるとのことですが、教科書で紹介されている道具類が多いのでしょうか。また、子ども達が触れて使用できる物が増えていますか。
事務局	そうですね。ほとんどがそういった物になります。
桐原委員	だとすると本当に様々な形で活用を広げていける可能性があるという事ですね。触るとどうしても子どもは壊してしまいますので、基本的には壊れることも計算に入れながら貸し出しをして頂ければ

	<p>と思います。</p> <p>ふるさとガイド旭さんのお話が出ていましたが、先生と学芸員だけではできないことがあり、博物館でもボランティアの方が道具の触り方を教えるなど、ボランティアの方の力を上手に借りられると良いですね。</p> <p>今の先生方は、着物の着付けや昔の道具の使い方もわからない方が多いので、ある程度年齢の高い方達に協力して頂ければ、小中学校などは良いかもしれないですね。</p>
事務局	<p>本地原小学校に関してですが、民具を貸し出している間に地域の方に来て頂いて、使用しながら説明して頂いた事もありました。他の小学校でもできればと思います。</p>
林委員	<p>NPO 法人についてお聞きしたいのですが、尾張旭市の企画展で3、4年前からとてもレベルの高い仕事をされて、展示やパンフレット作成と素晴らしい活躍されていると思います。しかし、NPO 法人だけではなく、地元の歴史愛好家や瀬戸尾張旭郷土史研究会や私が所属しているふるさとガイド旭を含めた地元の人達の力でも展示ができると思いました。少し時間は掛かると思いますが、あのくらいの展示内容はできます。</p> <p>何が一番大事かと考えると、地元の歴史を学び、研究をしている団体を育てて展示を作っていくことだと思います。NPO 法人へ依頼した経緯や地元団体との関わり方について伺いたいと思います。</p>
事務局	<p>民具企画展と考古企画展については、専属の先生がそれぞれ1人でされていたのが元になります。一方の先生は数年前に亡くなられ、また考古の先生についてはご高齢のためなかなか企画展ができないという点がありました。</p> <p>NPO 法人は、尾張旭に全く関係ない団体ではなく、理事長は、長坂遺跡等の尾張旭市内の発掘調査に携わっており、愛知県埋蔵文化財センターに所属されていた方が立ち上げた団体になります。かぎられた予算の中、ほぼ同額で業務をして頂いています。かつ、パンフレットの構成などもお願いしている状況です。</p> <p>学芸員はいるものの期間が限られる中、今の状態では頼らざるを得ない状態が現状です。</p>
林委員	<p>学芸員を中心に、地元団体と協力して頂き、育てていくことが大切だと思います。なんでも NPO 法人に委託すれば良いというものでもないのと考えて頂ければと思います。</p>
会長	<p>先程のマメナシの件で話を聞いて、ボランティアを活用できるような方向性を考えていくことが、今後大切だと感じました。</p> <p>いままでの流れの中で NPO 法人を利用しているという事ですね。今後どういう風にボランティアが参加できるかという問題もあると思いますが、様々な分野でボランティアを活用して頂ければと思い</p>

	<p>ます。</p> <p>マメナシの草刈り等についてはボランティアでできるかと思えます。増田教授のお話ではやはり、雑草等は除去する必要があるとのことですので、この事業でボランティアの活用への道筋を作ってもらいたいと思えます。声を掛ければ協力して頂ける方がたくさん見えますのでよろしくお願いします。</p>
桐原委員	<p>学芸員を含めて文化スポーツ課がどこまで主体的に考えて頂けるかだと思います。丸投げにならないという事が前提にあれば、様々なものを活用していく時代だと思います。主体的に考え方をしっかり持って頂きたいと思えます。</p>
会長	<p>今、桐原委員が言われていたように総合的に考えて様々な方を活用して頂ければと思いました。</p> <p>その他事務局からありますか。</p>
事務局	<p>(平成31年度どうだん亭一般公開の再開について説明)</p>
会長	<p>御質問等はよろしいでしょうか。</p>
林委員	<p>要望になりますが、尾張旭市内の旧瀬戸街道の部分に「瀬戸街道」という看板を出すのはどうでしょうか。守山区や矢田川の南の地域では、旧瀬戸街道の看板を出しているところがありますが、尾張旭市内にはまだ一つも無いと思えます。旧瀬戸街道の道筋をふるさとガイドはよく案内しますし、市民の方も生活道路として利用しています。しかし、市民の方にも旧瀬戸街道があまり知られていません。印場地区にたくさん残っていますので、その部分に案内板を立てることで、市民の方に旧瀬戸街道であることを知っていただくことは有効であると思えますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>ずっと残る道だと思うので、振り返られるように看板があると良いと思えます。要望として記録させていただきます。</p> <p>それでは、全ての議題が終了いたしました。これもちまして、平成30年度文化財保護審議会を終了します。</p> <p>ありがとうございました。</p>